

# 令和4年度第1回胎内市行政改革推進委員会議事要約

- 開催日時：令和4年7月29日（金）午後6時00分～7時50分
- 開催場所：胎内市役所 大会議室
- 出席委員：小川由美子 菊池英美 桐生和文 久世俊介 瀬賀和之 月岡俊輔  
藤井義文 宮腰容子 吉村崇 （敬称略）

## 1 あいさつ

- ・市長あいさつ

## 2 委嘱状交付

## 3 会長選任

- ・桐生和文委員を会長に選任。

## 4 議事録署名委員選任

- ・第1回会議の議事録署名委員は、小川委員、菊池委員を選任する。

## 5 行政改革推進委員の主な業務内容について（行政改革・行政評価）

- ・資料に基づいて説明

### 【行政改革について】

委員： 第3次行政改革大綱実施計画の最終報告があつて、これをもとに第4次の実施計画を策定したという理解でよいか。

事務局： 第4次の実施計画は、第3次の実施計画の途中までの進捗状況などをもとに策定しており、第3次の実施計画の取組の中で、第4次の実施計画にも盛り込む必要があるものは反映している。

委員： 第3次の実施計画にはないが第4次の実施計画の中で追加されたものや、第3次の実施計画の内容を修正されたものがあるという理解でよいか。

事務局： はい。第3次の実施計画から継続しているものも多々ある。

委員： 継続しているものと、このように変わったというものの比較表のようなものがあるとよい。

事務局： 比較できる資料を次の会議までにお配りする。

委員： 第4次の実施計画は、第2次胎内市総合計画の中からは、はみ出していないという解釈でよいか。

事務局： そこは整合を図っている。

### 【行政評価について】

委員： 行政評価については、庁内評価委員でチェックされているか。

事務局： 毎年、全施策について、庁内評価委員会で評価を行っている。

## 6 第3次胎内市行政改革大綱実施計画最終報告（素案）について

- ・最終報告(素案)の内容について説明
- ・進捗管理表の内容について説明

委員： 4つの評価「◎○△×」は、どのような評価判断なのか。数値化して行っているのか。

事務局： 指標の達成度が評価判断基準となるが、指標だけで評価できない部分もあるので、計画の目的に対してどこまで行ってきたかという取組内容のところを含め、総合的に評価している。できるだけ数値化をしながら、数値化しにくい部分は取組内容や成果から総合的に評価している。

委員： 目標に対して、「やりました」ということに対する評価だが、やった結果どうだったのかというあたりも大事だと思う。そこもこの評価の中に入っているのか。

事務局： この中での指標は、成果指標を捉えているものもあれば、成果指標ではなく産出指標により、市が行った回数などで評価しているものもある。成果が出ているかというところについては、今後の進捗管理表に追加するかどうか検討していきたい。

委員： 情報セキュリティの部分の評価だが、実施回数が全部0回なのに、評価が△というのはどういうことなのか。これに関しては、例えば、1回に向かうための準備を進めたから、△というような評価をされたという認識でよいか。

事務局： 「セキュリティ点検の実施」を指標とし、その結果が0回となっているので、指標だけを見ると全く成果がないように映るが、その他の取組内容としてセキュリティの研修というところは毎年行っているので、そのあたりも含めて△というような評価に至っている。

委員： 我々はこの進捗管理表だけで見て、回数は行っているけど△だったり、回数が少なくても○だったり、果たして何が良くて今回○が付いたのか、評価しづらいところがあると思う。

事務局： この様式自体をより分かりやすくすることと、評価理由のところを明確にして表示するという事などを、今後検討したい。

以上